

XMOS の XS1-G4,L1 であそぶ - その 4

テスト基板 XC-1,XC-2,XK-1,XC-1A などと遊んで気がついたことのメモを書いていきます。

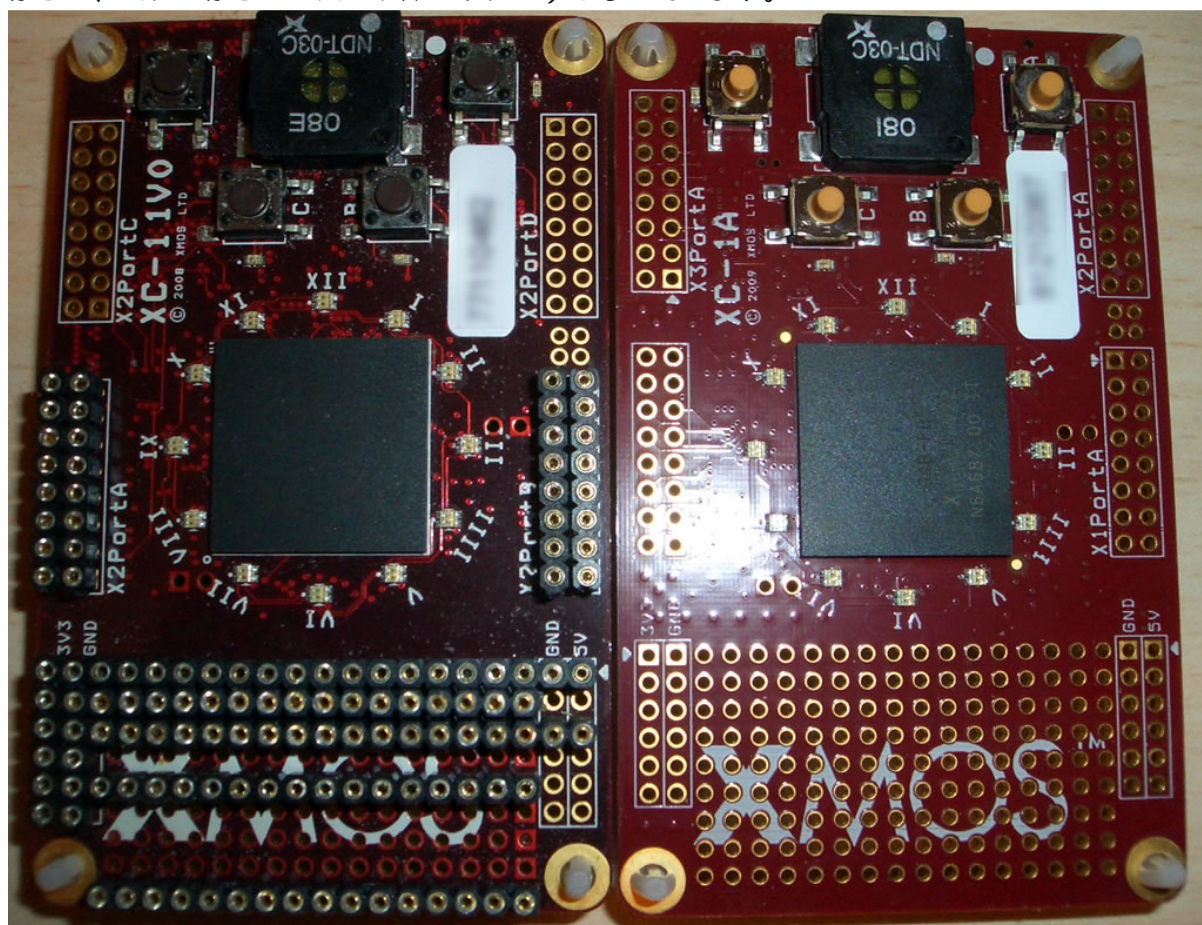
XC-1 と XC-1A を比べてみる

・オモテの比較

一見、スイッチが変わったくらいで、とくに違いがないように見えますが、横の拡張コネクタのシルク印刷を見るとわかるように、4 コアのすべてから外部への拡張ができるように改良されました。

XC-1 (左側の基板) では「X2PortA-D」(コア 2 から 4 コネクタへ、コア 0 からユニバーサルエリアへ) に対し、

XC-1A (右側の基板) では、「X1PortA」「X2PortA」「X3PortA-B」(コア 1、2 から各 1、コア 3 から 2、コア 0 からユニバーサルエリアへ) となっています。



・ウラの比較

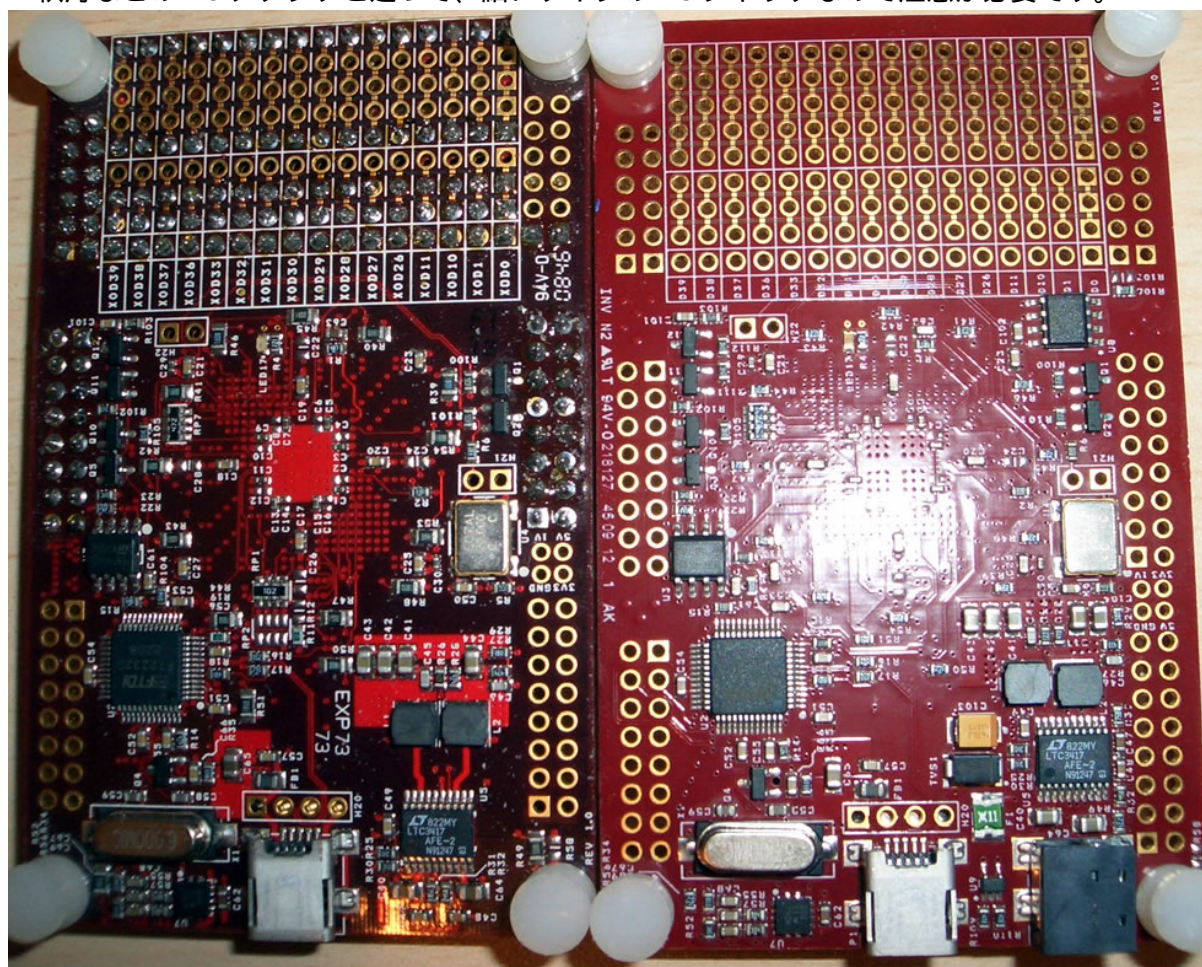
XC-1A (右側の基板) 右上、ユニバーサルエリアの手前にコンフィギュレーション用 SPI ROM (Atmel 製 AT25DF041A) が搭載されました。

しかし、ユニバーサルエリアへの引き出し (SPI 用ピンに相当する部分) は変わっていません。

XC-1A (右側の基板) 右下、外部 5V 入力が増加されています。

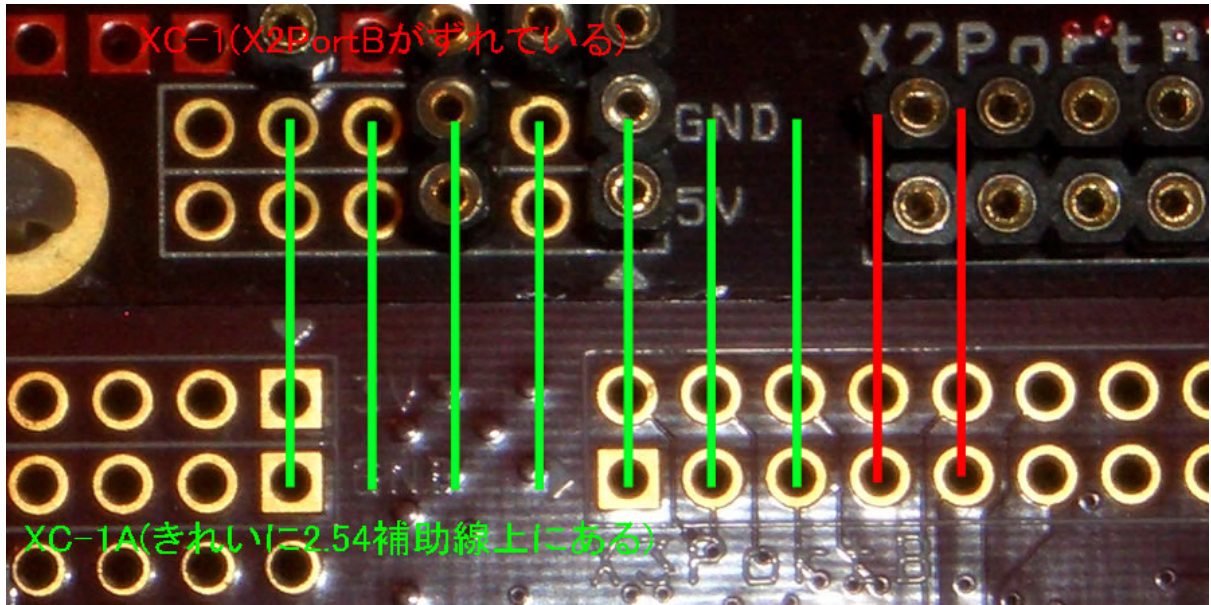
XC-1A には AC アダプタは付属しません。XC-2 などに付属する AC アダプタがそのまま使えます。

秋月などの AC アダプタと違って、細いタイプの DC ジャックなので注意が必要です。



XC-1A のユニバーサルエリアと拡張用コネクタ比較

XC-1 では、ユニバーサルエリアの 2.54 ピッチ部分と、拡張部分の両方が同じ 2.54 グリッドにのらないため、いわゆる「手製シールド」をユニバーサルで作るのが面倒でしたが、XC-1A では同じグリッドにのるようになって、改善されました。



<< [XMOS の XS1-G4,L1 であそぶ - その3](#) | [XMOS の XS1-G4,L1 であそぶ - その5](#) >>